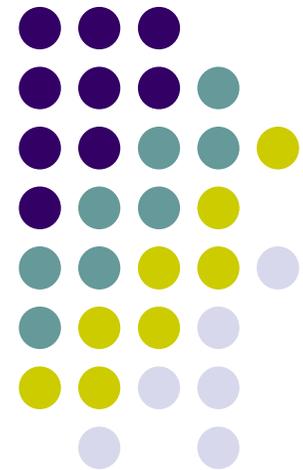


# 振り返りセッション

JaSST Kansai実行委員  
角口勝隆





## 当セッションの目的

- 得た知識・気づきを、自分の中で思い返すだけでなく、全体で共有し、さらに広げる。
- つまり、「**振り返り**」ではなく「**振り替えり**」。
- カッコ良く言えば、「替え＝変換: Transfer」の意味合い。
- 良い知識をアウトプットし、共有し合いましょう!!



# 当セッションの構成

- ワークショップの振り替えり
- 今後への飛躍について



# ワークショップの振り替えり

- 負けないテスト戦略の立案と、運用の体験
  - 目標の立て方(目的と具体的施策の検討)
  - 情報の読み取り方(観点の広げ方)
  - 状況変化への対応(評価基準での優先付け)

**グループ単位に、現場で活用できる  
スキル的一端を体験をしていただきました。  
その中で、良い事例を紹介させていただきます。**

# ミニワークショップにおける、 グループ名発表



- 黒い犬さん
- 20歳のかわいい犬チーム
- 犬40才
- Blue Cat
- かわいい20才
- 緑の犬
- 30歳の青い犬
- 青い猫チーム
- 青い猫
- 30のネコ
- クアトロン
- 緑のネコさん
- 気まぐれな黒い25歳
- COOLな青い犬
- オレンジネコ
- 名無し
- かわいい犬

# 「目標(成功基準)と具体的施策」の事例



当日のワークショップでの  
成果物の一部にコメントをつけて、  
以降のスライドに表示します

# セキュリティの検討がGood



グループ名: COOLな青い犬

検証作業における目的:  
健康管理時計を実機検証し、出荷可能な品質であるか合否判定する。

#	目的	具体的施策(手段)
1	例) 基本機能が正常動作すること 健康管理機能 カロリ消費計 設定機能 表示、通知 データ記録	例) 時計機能を、うるう秒含めてテストする セ: サ: 精度テスト, 運動量の計算テスト 入力と表示の遅延, <b>セキュリティ</b> タイミグ, 方法, 容量 量

セキュリティの検討が後手になると、製品の作り直しや、後戻りが多くなるので、計画時点で考慮されているのは良いですね！

# 視点の抽象化が、Good

ループ名: Blue Cat.

正作業における目的:  
健康管理時計を実機検証し、出荷可能な品質であるか合否判定する。

目的	具体的施策(手段)
1 例) 基本機能が正常動作すること	例) 時計機能を、うるう秒含めてテストする 時刻設定 <del>が</del> が正しくできること 時報、アラームの ON/OFF (それぞれ独立に) の入りこと
2 例) 精度や判定に大きな誤差がないこと	例) 測定範囲(身長、体重)の事前明確化 精度(小数点以下 2桁か?)
3 例) 実用に耐えうること	例) ある程度の障害に耐えうるか、耐障害テストを行う 防水, 耐圧テスト 使用できる 温度範囲

目標・目的は、ある程度抽象化(本質を残して、余分な表現を省略)して書き出すと、後工程でも柔軟に対応し易くなります。このグループでは、全体的にシンプルなワードで纏まっており、Goodですね!

# 目標・目的の策定と 具体的施策のワンポイント



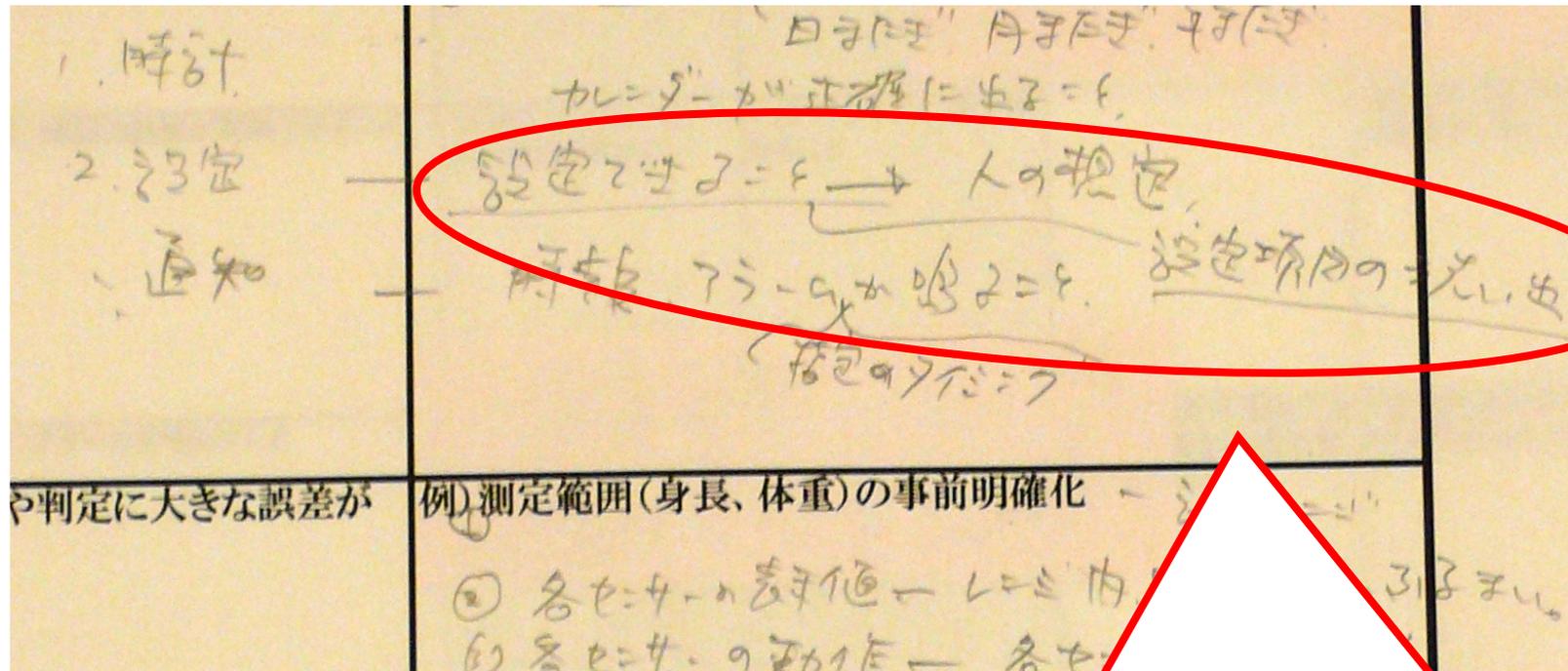
- 参加メンバー全員で、検討していること
  - 一方的に取り決めるより、自発的参加型が、モチベーションに良い。
- 目的と、手段が明確であること
  - 手段を達成することが、目的ではない
  - 手段実施の上で、判断に迷ったときは、今一度目的を思い浮かべることが大事  
(→キーワード:何のために?)
- あまり多すぎず、細かすぎないこと
  - ある程度「抽象化」が必要(柔軟性を保つため)
- 課題とリスクを混同しない
  - 課題:実施すべきこと
  - リスク:不確定要素



## 「テスト観点」の事例

当日のワークショップでの  
成果物の一部にコメントをつけて、  
以降のスライドに表示します

# 連想の仕方が、Good



連想の仕方が、Goodですね！  
気になるキーワード(着目点)から線を引き出し、仕様書などへ直に気になる点を書き出す方法は、シンプルで良いノウハウです。(案外、無意識に実施されていますが)ちょっとしたマインドマップの応用でしょうか。

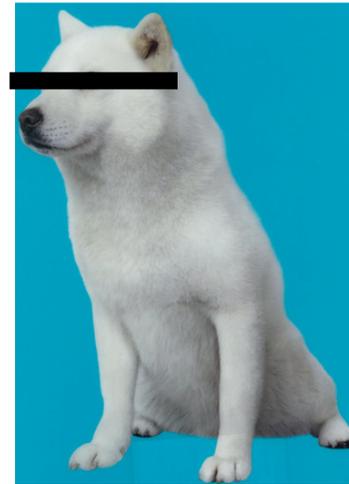
# タイミングの視点が、Good



時報や、アラームを鳴らすこと	・音量は適切であること とあ ・定	・指定時間には鳴らすこと の 他、 血圧計、体温計、カロリー計のアラーム と同様にタイミングで鳴らしても 優先順位とよりに鳴らすこと 3A
----------------	-------------------------	---

タイミングの視点は、Goodですね！  
発生するイベントと、「競合・排他」の観点を頭に入れておくと、不良の作りこみ防止にも効果があると思います。  
経験的に、こういうところでの盲点(検討不十分)や、BUGが多いですね。

# テスト観点のワンポイント



※犬です

- 基本は「モレなく」「ダブリなく」
  - 視野・視点を変えて、検討しましょう
  - 似たようなものはグループ化や階層化しましょう
- あまり多すぎず、細かすぎないこと
  - ある程度「抽象化」が必要
  - 「抽象化」とは、本質を抜き出すこと
- あいまいな部分が、明確であること



## 「優先順位付け」の事例(1)

当日のワークショップでの  
成果物の一部にコメントをつけて、  
以降のスライドに表示します

# 優先順位の根拠について



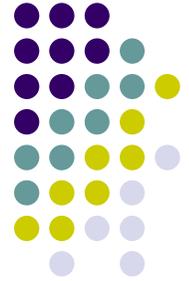
グループ名: 赤い人さん

大項目	品質特性との関連	テスト組占	リスク分析(演習1)				リスク分析(演習2)			
			A: 障害の可能性	B: 障害の影響	(A+B): リスク度	優先順位	A: 障害の可能性	B: 障害の影響	(A+B): リスク度	優先順位
		品質(温度)のモニタ								
		8B 誤差は±0.1℃以内であること	2	3	5	2	2	3	5	1

「誤差は0.1℃以内であること」と、精度に関するテストの優先順位を高く設定されていました。

**高精度であるコンセプト**をグループ内で共有されており、うまく合意できていた点がGoodですね！

※優先順位の根拠を明確にしておくこと、現場で展開する際により良いのではないかと、経験的に考えています。



# 「優先順位付け」のワンポイント

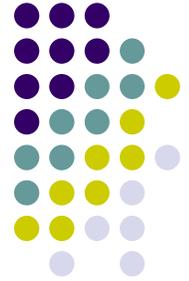


- 定量的であること
  - 具体的な数値となっていること
- 視野を広げて検討していること
  - 発注元、プロマネ、開発者、
- 複数人で、妥当性を確認していること
  - 思い込みや、思考の偏りが無いこと



## 今後の展開

- 「負けないテスト戦略」は、如何でしたか？
- どんな状況でも、なんとかなる知恵と勇気は得られたでしょうか？
- 現場で活用できる、ちょっとしたヒントについて紹介します。



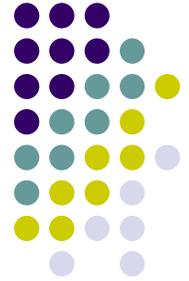
# 備えあれば、憂いなし？

- 「備えあれば、憂いなし。」
  - →リスク分析と、対策を検討していれば、本当に心配事は無いのか？
  - その前に、「憂い」が無ければ、備えも起こらないはず。
  - 「...かも知れない」と、悲観的に準備検討し、「なんとかなるさ」と、楽観的に行動すべし。

# 君子、危うきに近寄らず。 三十六計、逃げるに如かず？



- 身の周りが高リスクだらけの場合、避けたり、逃げるのが懸命なのか？
  - 実行することはリスクだが、何もしないと、もっと大きなリスクを背負うことにならないか？
  - 「リスクの無い挑戦はない」
  - 「ピンチはチャンスなり」
    - もっとも有利な状況と、もっとも不利な状況は似ている。
    - ピンチの中で、活路を見出すには、熱いハートと、冷徹な頭脳、そして機運が大事。



## 参考文献

- **プロマネー日一句**  
名内泰藏(著) 日経BP社
- **ソフトウェア品質保証入門**  
奈良隆正,保田勝通(著) 日科技連出版社
- **図解 兵法**  
大橋武夫(著) ビジネス社



# ありがとうございました

- スポンサー様、講演を頂いた方々、  
会場設営／運営にあたられました方、  
企画検討～準備にあたられました方、  
そして、、、  
参加いただいた皆さま、全てに感謝致します。

